

一般事業主行動計画策定・変更届 届出年月日 平成 28 年 3 月 31 日
 都道府県労働局長 殿

(ふりがな)
 一般事業主の氏名又は名称 (株)九州フードサービスセンター
 (ふりがな)

代表取締役 吉田 秀憲 印

住 所 〒861-5535
 熊本市北区實町 780-10
 電 話 番 号 096-215-9901

一般事業主行動計画を (策定・変更) したので、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律第 8 条第 1 項又は第 7 項の規定に基づき、下記のとおり届け出ます。

記

1. 常時雇用する労働者の数 550 人
 男性労働者の数 71 人
 女性労働者の数 479 人

2. 一般事業主行動計画を (策定・変更) した日 平成 28 年 3 月 31 日

3. 変更した場合の変更内容の計画期間
 ① 一般事業主行動計画の内容 (既に都道府県労働局長に届け出た一般事業主行動計画) 又は女性活躍推進対策の内容 (既に都道府県労働局長に届け出た一般事業主行動計画) 又は女性活躍推進対策の内容 (既に都道府県労働局長に届け出た一般事業主行動計画) 画策定・変更届の事項に変更を及ぼすような場合に限る。
 ② 書面の交付
 ③ 電子メールの送信
 ④ その他の周知方法

4. 一般事業主行動計画の計画期間 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 33 年 3 月 31 日

5. 一般事業主行動計画の労働者への周知の方法
 ① 事業所内の見やすい場所への掲示

6. 一般事業主行動計画の外部への公表方法

- ① インターネットの利用 (自社のホームページ) 女性活躍・両立支援総合サイト / その他 ()
- ② その他の公表方法 ()

7. 女性の職業生活における活躍に関する情報の公表の方法

- ① インターネットの利用 (自社のホームページ) 女性活躍・両立支援総合サイト / その他 ()
- ② その他の公表方法 ()

8. 一般事業主行動計画を定める際に把握した女性の職業生活における活躍に関する状況の分析の概況

- (1) 基礎項目の状況把握・分析の実施 (済)
- (2) 選択項目の状況把握・分析の実施 (把握した場合、その代表的なもののみを記載) (継続雇用・長時間労働)

一般事業主行動計画の担当部署名	総務部 課長
(ふりがな) 担当者の氏名	こにし おみこ 古西 文子

9. 達成しようとする目標及び取組の内容の概況（一般事業主行動計画を添付する場合は記載省略可）
 (1) 達成しようとする目標の内容（分類について（2）の表左欄の数字を記載。数値目標で代表的なもののみを記載。）

分類
3

年次有給休暇の取得率を現状平均70%から90%を目指す

(2) 女性の活躍推進に関する取組の内容の概況

達成しようとする目標に関する事項（分類）	女性の活躍推進に関する取組の内容として定めた事項（例示）
① 採用に関する事項	ア 採用選考基準や、その運用の見直し イ 女性が活躍できる職場であることについての求職者に向けた積極的広報 ウ 一般職等の職務範囲の拡大・昇進の上限の見直し・処遇改善 エ 一般職等から総合職等への転換制度の積極的な運用 オ 育児・介護・配偶者の転勤等を理由とする退職者に対する再雇用の実施 カ その他 ()
② 継続就業・職場風土に関する事項	ア 職場と家庭の両方において男女がともに貢献できる職場風土づくりに向けた意識啓発 イ 上司を通じた男性労働者の働き方の見直しなど育児参画の促進 ウ 利用可能な両立支援制度に関する労働者・管理職への周知徹底 エ 若手の労働者を対象とした仕事と家庭の両立を前提としたキャリアイメージ形成のための研修・説明会等の実施 オ 育児休業からの復職者を部下に持つ上司に対する適切なマネジメント・育成等に関する研修等 カ 短時間勤務制度・フレックスタイム制・在宅勤務・テレワーク等による柔軟な働き方の実現 キ その他 (年次有給休暇の取得促進)
③ 長時間労働の是正に関する事項	ア 組織のトップからの長時間労働是正に関する強いメッセージの発信 イ 組織全体・部署ごとの数値目標の設定と徹底的なフォローアップ ウ 時間当たりの労働生産性を重視した人事評価 エ 管理職の人事評価における長時間労働是正・生産性向上に関する評価 オ 労働者間の助け合いの好事例発表・評価等による互いに助け合う職場風土の醸成 カ チーム内の業務状況の情報共有／上司による業務の優先順位付けや業務分担の見直し等のマネジメントの徹底 キ その他 ()

<p>④ 配置・育成・教育訓練に関する事項／評価・登用に 関する事項</p>	<p>ア 従来、男性労働者中心であった職場への女性労働者の配置拡大と、それによる多様な職務経験の付与</p> <p>イ 女性労働者の積極的・公正な育成・評価に向けた上司へのヒアリング／若手に対する多様なロールモデル・多様なキャリアパス事例の紹介／ロールモデルとなる女性管理職と女性労働者との交流機会の設定等によるマツチング</p> <p>エ 職階等に応じた女性同士の交流機会の設定等によるネットワーク形成支援</p> <p>オ 時間当たりの労働生産性を重視した人事評価による育児休業・短時間勤務等の利用に公平な評価の実施</p> <p>カ その他 ()</p>
<p>⑤ 多様なキャリアコースに関する事項</p>	<p>ア 採用時の雇用管理区分にとらわれない活躍に向けたコース別雇用管理の見直し（コース区分の廃止・再編等）</p> <p>イ 一般職等の職務範囲の拡大・昇進の上限の見直し・処遇改善</p> <p>ウ 非正社員から正社員（※）への転換制度の積極的運用</p> <p>エ 育児・介護・配偶者の転勤等を理由とする退職者に対する再雇用の実施</p> <p>オ その他 ()</p>

(※) 「非正社員」とは、正社員以外の者をいうこと。
「正社員」とは、短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律（平成5年法律第76号）第2条の「通常の労働者」をいうこと。「通常の労働者」とは、いわゆる正規型の労働者をいい、社会通念に従い、当該労働者の雇用形態、賃金形態等（例えば、労働契約の期間の定めがなく、長期雇用を前提とした待遇を受けるものであるか、賃金の主たる部分の支給形態、賞与、定期的な昇給又は昇格の有無）を総合的に勘案して判断するものであること。